

岩手大学 MDASH 応用基礎プログラム（獣医学部） 令和 6 年度 自己点検・評価結果について

● プログラムの履修・修得状況

本プログラムの修了要件は、「生物統計学」1 科目 2 単位を履修し、その後「データ分析演習（2 年次前期）」および「統計的機械学習実践（2 年次後期）」の 2 科目 3 単位、合計 3 科目・5 単位を全て取得すること、としている。令和 6 年度は「生物統計学」を 1 年次 33 名中 11 名受講した。この学生の履修状況（履修申告から課題の提出等）については、本学が導入している Web Class（LMS）を通して、科目を履修している担当教員及び教学マネジメントセンター並びに教務委員が把握することができるシステムとなっており、各授業科目の習得状況やプログラムの改善等について学内・学部内での検討・審議を行っている。

● 学修成果

プログラム構成科目のうち、令和 6 年度後期に開講された「生物統計学」に対するアンケートでは、学生が学習の効果を回答する項目を設定している。そのなかで質問「この授業の内容を理解できましたか」の質問では、「理解した」と「やや理解した」と回答している学生が 91%、「どちらともいえない」と回答した学生を加えると 98%となり、「理解できなかった」と回答した学生は 2%であったことから、学修効果は高かったといえる。

● 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

プログラム構成科目「生物統計学」では、令和 6 年度授業評価アンケートにて「教員の講義はわかりやすかったですか」の質問に対して 100%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。このことと前述した【学修成果】の記載内容を鑑みると、本指導プログラムの内容理解度は高かったと判断できる。

● 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

プログラム構成科目「生物統計学」では、令和 6 年度授業評価アンケートにて「後輩等に推奨したいか」という質問は設定していない。学修の有用感や満足感を問う質問項目のうち「この授業を受講して新しい見方・考え方や知識を得たと思いますか」の質問では 100%の学生が「そう思う」「やや思う」と回答しており、「この授業を総合的に見てどう評価しますか。」については、100%の学生が「非常に良い」「良い」とポジティブに回答している。これらのことから「後輩等他の学生への推奨度」については高い水準になることが推察される。

● 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

令和 7 年度から獣医学部共同獣医学科（定員 30 名）となり新たなカリキュラムへと変更されるが、本プログラムを履修できるように「履修の手引き」を介してガイドする予定であ

る。なお、プログラム構成科目については専門教育科目と並行して履修可能な時間割を作成している。講義するスタッフであるが、令和7年度以降、本プログラム講義を担当する教員について全学的に手厚いサポートが得られている。

- **教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価**

本プログラムの修了生が卒業する令和11年度以降に、企業等への卒業生アンケート項目に本プログラムの効果を問う設問を用意して外部の評価を受けつつ、その結果を踏まえてプログラムの改善に役立てる予定としている。

- **産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見**

岩手大学ではNTTdocomo、岩手日報社などの企業と連携協定を締結して教育・研究を推進している。本学農学部共同獣医学科では、大部分（60%程度）の卒業生は民間（企業・伴侶動物診療施設・畜産動物診療施設など）に就職することから、企業等への卒業生アンケートの実施により産業界からの視点を含めた内容を取り入れていく予定である。また、卒業後の進路として「公務員」が毎年30%程度を占めることから、本プログラムの獣医学への応用について地元の岩手県農林水産部との定期的な意見交換を予定している。今後は、このような多くのチャンネルを通して、産官学の視点を含めた本プログラムのPDCAを推進していく予定である。

- **数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること**

プログラム構成科目のうち、令和6年度に開講された「生物統計学」に対するアンケートでは、学生が学習の効果を回答する項目を設定している。そのなかで質問「この授業に興味をもてましたか」、「この授業に興味をもてましたか」の質問では、「そう思う」と「少しそう思う」と回答している学生が98%となっており、ポジティブに回答した学生は多い。今後、実践的な数理・データサイエンス・AIに関する科目を履修することで「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させることができると推察される。

- **内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること**

プログラム構成科目「生物統計学」のアンケート調査の結果「教員の講義はわかりやすかったですか」については、「そう思う」と「やや思う」と回答している学生が100%となっている。今後はWeb Class（LMS）による事前資料配付等の充実を図るとともに、急速に進展する生成AI等を、科目「統計的機械学習実践」などで取り上げることを検討し、本プログラムの充実を図ることとしている。